

平成16年度  
総会のお知らせ

平成16年度環境あきた県民フォーラム総会並びに特別講演を開催します。

日時 平成16年4月17日(土)

- ・総会 午後1:30~
- ・特別講演 午後2:30~
- ・NPO法人設立総会 午後3:30~

場所 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)大会議室  
秋田市上北手荒巻字堺切24-2(日赤病院となり)

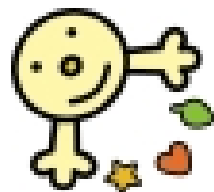
特別講演講師紹介

茅野 貴氏  
昭和8年4月10日生 70歳  
出身地 長野県岡谷市  
学歴・職歴  
昭和31年3月 東京大学  
法学部卒業  
昭和31年4月 八十二銀行  
昭和61年6月 同 入行  
取締役上田支店長  
平成元年6月 同 常務  
平成6年6月 同 頭取  
平成13年6月 同 会長  
平成15年6月 同 顧問  
公職  
社団法人長野県環境保全協会会長



以上

美化活動シンボルマーク  
「クリンちゃん」



みんなでつくろう! きれいな秋田

4月11日(日)は「あきた・ビューティフル・サンデー」

毎年、春が近づくと、雪の中に隠れていたごみが目立ちはじめます。不快な思いをされたことはありませんか?

県では、4月の第2日曜日を「あきた・ビューティフル・サンデー」として、身近な環境をみんなできれいにするための活動の日としています。家族や友達同士で声をかけあって、自宅の周りなど身近な場所をきれいにして、気持ちよく春を迎えましょう。

一人ひとりの活動は小さなものですが、より多くのおみなさんの活動が、秋田をきれいにする大きな力になります。みんなの力で美しいふるさと・秋田を作りましょう。

また、「あきた・クリーン強調月間」である4月中は、県内あちこちで、市町村や自治会などが主催するクリーンアップが行われますので、積極的に参加してください。

お問い合わせ

秋田県環境あきたアクションチーム

TEL 018-860-1572 FAX 018-860-1574

<http://www.pref.akita.jp/bika/>



入会について

あなたも参加しませんか

私たち自身のため、未来の子供たちのため、秋田の環境をよりよくしていくというネットワークづくりの団体です。ホームページやニュースレターを通じて、様々な立場での環境に優しい行動を紹介し広く連携を呼びかけます。入会資格は「秋田の環境を大切に思っている」ことだけで、個人、企業、団体などなたでも入会できます。

会費

区分	会費	該当するもの
企業・企業関係団体	1口:1万円 年1口以上	企業・業界団体など
個人・民間団体	1口:1,000円 年1口以上	消費者団体・地域団体・町内団体・ボランティア団体など

平成16年3月20日現在(NPO法人設立後は変更があります)

会費納入について  
秋田銀行 県庁支店 普通 560425 北都銀行 山王支店 普通 6099633 郵便振替口座 02280-7-76146  
いずれも環境あきた県民フォーラム宛です。  
なお、ニュースレター送付の都合上、銀行振込の場合は事務局に御住所、お名前を御連絡ください。

環境あきた県民フォーラム事務局

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内  
FAX 018-829-5803 TEL 090-6781-8040  
Eメール mail@eco-akita.org ホームページ <http://www.eco-akita.org/>

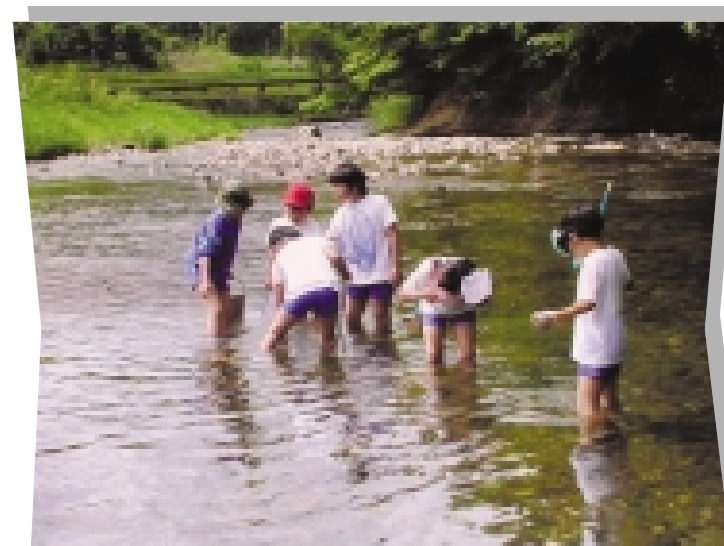
事務局から

環境保護・保全活動は大切ですが、面倒くさいのも事実です。慣れてしまえば案外続けられるもので、始めるきっかけがとても大事。4月から「あきた環境優良事業所認定制度」が始動しますが、そのきっかけの1つになればいいなあ...と思っています。この通信で紹介したいと思いますので、環境に優しい活動を頑張っている方々をご存知でしたら、ぜひ事務局にお知らせください。(高村)

環境あきた AKITA  
2004 春号

県民フォーラム  
通信

発行/環境あきた県民フォーラム事務局  
〒010-1403  
秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内  
TEL090-6781-8040 FAX018-829-5803  
E-mail:mail@eco-akita.org ホームページ:<http://www.eco-akita.org/>



「馬場目川の水調べ」(杉沢小学校)



「大湯村の菜の花ロード」

目次

第3回幹事会報告	...2
「環八郎湖・流域の未来シンポジウム」新たな水郷の創出に向けて	...3
僕と私の未来のために! こどもエコクラブの活動	...4~6
活動紹介	...7
お知らせ	...8

# 第4回幹事会報告

去る2月26日(木) 秋田市のふきみ会館にて第4回幹事会が開催されました。

## あきた環境優良事業所認定制度 詳細決定!

前号でお知らせした「あきた環境優良事業所認定制度(秋田版ミニISO)」について、企画部会での制度案を基に、幹事会で検討を加え決定しました。

取組区分は、初めての方でも比較的簡単に環境に配慮した活動に取り組むことができる「ステップ1」と、環境問題に積極的に取り組む活動を行っている事業所などが対象の「ステップ2」の2段階です。

認定期間は3年間で、更新も可能です。認定証の交付は年2回、フォーラム総会と9月に開催予定の「あきたエコ&リサイクルフェスティバル」の会場において行う予定です。

区 分	申請料金	取組項目
ステップ1(基本編)	5,000円 (フォーラム会員は2,000円)	ごみの減量、省エネなど
ステップ2(中級編)	100,000円 (フォーラム会員は80,000円)	省エネ、廃棄物抑制、大気汚染防止、化学物質対策、グリーン購入など

(取組項目の詳細については現在書類作成中)

この制度は4月からスタートします。

申請書等の必要書類は、事務局に問い合わせいただくか、ホームページからもダウンロードできるようにする予定です。

## NPO法人化 準備中!

NPO法人化意向アンケートに際してご協力ありがとうございました。

現在、NPO法人の定款等、申請書類の準備をしています。16年度環境あきた県民フォーラム総会終了後、NPO法人設立総会を開催し、承認を得た後、県に申請する予定です。その後、公告、縦覧、審査を経て認証されることとなります。

## 16年度総会 開催日時!

平成16年度環境あきた県民フォーラム総会を平成16年4月17日(土)午後1時30分から秋田県ゆとり生活創造センター(遊学舎)大会議室にて開催します。

総会では、社団法人長野県環境保全協会会長の茅野 實氏の講演を予定しております。会員のみならず、多くの方々のご参加をお待ちしています。会員の皆様には総会開催のご案内を後ほどお送りいたします。

# 新たな水郷の創出に向けて ～循環する水系という視点～

1月24日(土)昭和町の羽城中学校視聴覚室で「環八郎湖・流域の未来シンポジウム」が開催された。3人の講師の基調講演の後、プレゼンテーション、パネルディスカッションという集中講義顔負けの盛りだくさんの内容であったが、350席をはるかに超える400人余りの参加者で会場は立ち見が出るほどだった。環八郎湖の地元の方だけでなく、県内あちこちからの参加者もあり、熱気あふれたシンポジウムとなった。

### 基調講演

「地産地消から“身土不二”“農都不二”へ 食と農のあり方を問い直す」

講師 徳野貞雄(熊本大学文学部教授、全国合鴨水稲会世話人)

「“豊かさ”そして“多職”の潮流 自然と人間の無事な関係の中で考える」

講師 内山 節(哲学者、NPO法人森づくりフォーラム代表理事)

「“水郷・八郎湖”の創出に向けて 霞ヶ浦アサザプロジェクトに学ぶ」

講師 飯島 博(NPO法人アサザ基金代表理事、霞ヶ浦・北浦をよくする市民連絡会議事務局長)

3人の講師の方々のお話はいずれも心に染み入る内容で、「人と人のつながり」や「先人に学ぶ」、あるいは「自然とのかかわり」など、いずれも人間大好き、自然大好きのおもしろさがあふれていて、私たち聴衆も元気ももらった。

詳しい内容については下記のホームページをごらんいただきたい。

基調講演の後、「八郎湖は、いま～キラキラと命輝け八郎湖～」として長沼隆氏(秋田県環境政策課長)が八郎湖の現状をアンケート結果とともに報告し、その後、パネルディスカッション「八郎湖から八郎湖へ、そのあるべき姿を探る」が行われた。

コーディネーターとして谷口吉光氏(秋田県立大学生物資源科学部助教授) パネリストは、作佐部直氏(環鳥海・未来の森林プラットフォーム事務局長)、鈴木晃氏(オールグリーン事業団代表)、戸澤藤彦氏(大潟村環境創造21代表)、藤田多鶴子氏(秋田農山漁村生活研究グループ協議会会長)、鷲谷與助氏(南秋田郡真崎堰土地改良区理事長)の5人の方々に、地域に根ざした活動をしている方々ならではのディスカッションが行われた。

この日は引き続き夜の部ということで、交流夜学塾「喉を潤しながら、みんなで議論を深めましょう、環八郎湖：新たな水郷の創出に求められる取り組み」が、コーディネーターに賢木新悦氏(北東北広域連携推進協議会会長)を迎えブルーメッセあきたで行われた。

このイベントは未来の八郎湖流域を考える良い機会となった。

詳しいことは

[http://www.pref.akita.jp/akikenmi/akitatiiki/31pro\\_hachirouko/hachiroko.htm](http://www.pref.akita.jp/akikenmi/akitatiiki/31pro_hachirouko/hachiroko.htm)



周辺地域の特産物の販売

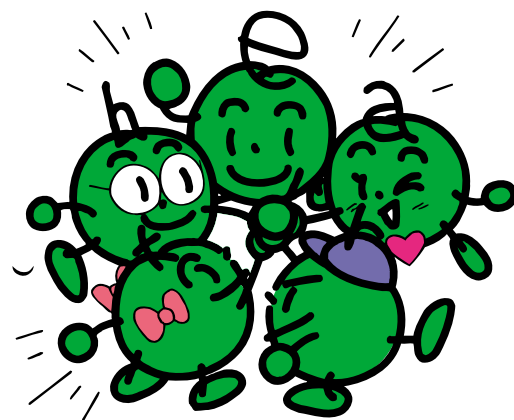


パネルディスカッション



平成7年度からスタートした環境省の事業であるこどもエコクラブも、15年度で9年目をむかえました。

こどもエコクラブは単年度登録で、秋田県では平成15年度、131のクラブが登録し、2,585人（平成16年2月末現在）の子どもたちがいろいろな活動を行いました。



## 院内小生物クラブ（仁賀保町・院内小）

院内小学校のこどもエコクラブは、生物クラブ5年生8人で構成されています。

今年から始めたことなので、どんなことをしようかとワクワクしながら、計画を立てて一つずつ実践にうつしている感じです。

その中の活動の1つとしては、学校の周りの環境を調べ、今自分たちで出来ることは何なのかを見つけていこうと活動しています。

学校の近くの川の生物を調べると、川がどのくらい汚れているのかわか

ります。そして自分たちでもできる環境を守る方法を実行していこうと計画しています。今は、廃油からセッケンを作ることに挑戦しています。

また、登校路に空き缶やゴミが落ちているのを見つけて、全校にクリーンアップを呼びかけて、実行するなどしています。

今後も、身近な環境を守ることを、自分たちで実践したりみんなに呼びかけたりして

いきたいと思っています。

<http://www.chokai.ne.jp/innai/>



牛乳パック再利用で椅子づくり

## 内小友小学校ECOクラブ（大曲市・内小友小）

「内小友小学校ECOクラブ」は、内小友小学校の4・5年生がメンバーとして活動しました。学校全体でも田植えや稲刈り、菜園活動、登校中のクリーンアップ、プルタブ回収などを行って、身近な環境にかかわってきました。その中でクラブでは、地域の環境探検をして、環境について考えました。

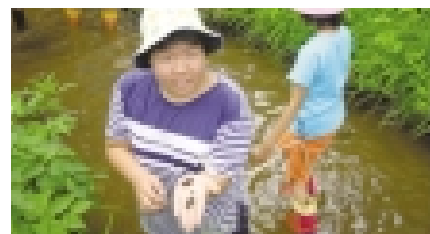
4年生では、総合的な学習の時間のテーマを「きらり内小友再発見！ ふるさと環境たんけん隊」として学習しました。まずは、雄物川へフィールドワーク。たくさんの野鳥や、川のよど

みにいる小魚を発見して感激しました。その一方で、たくさん目につくゴミを見て、私たちにできることは何か考えました。そして、ホタルの生息地である高寺地区でフィールドワーク。ホタルのすみつく環境がずっと続いてほしいと願い標語とポスターにまとめました。「ホタルもね ゴミのない町望んでる」「ホタルを守ろう ポイ捨て禁止」これらの願いが、地域の人たちにも届いてくれると願っています。

5年生は、内小友の昔を知る学習で中沢地区に行き、地層を見たり化石を

見つけたりして自分たちが住む内小友のことを調べてきました。ずっと昔からここに存在する内小友を自然が豊かな今の環境のまま未来へつなげていきたいと子どもたちは願っています。

<http://www.obako.or.jp/uchisyo/>



川のよどみに小魚発見！

## 男鹿中小5年（男鹿市・男鹿中）

男鹿中小学校の5年生13人は、「杉っ子エコクラブ」として、総合的な学習の時間などを活用して活動しました。「できることから始めよう！」を合い言葉にエコロジカルとれーにんぐとして、「おらほのいいところ（自分たちのまちのよいところ）」や「エコタウンを絵でかこう」に取り組みました。また、エコロジカルあくしょんとして、「エコ・ショッピング、クッキング」と「滝川の生き物調べ」に取り組みました。

1 エコ・ショッピング  
買い物袋を持参して、旬の材料を

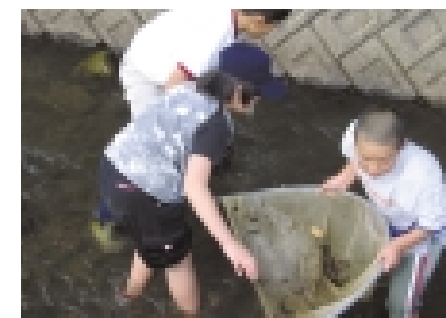
選んだり、ゴミが出ないように必要な分だけを買ったりしました。

2 エコ・クッキング  
エコ・ショッピングで買った材料で調理をしました。調理の時には、材料はきちんと量る。材料をむだなく使う。ガスコンロを上手に使う。水を大切に使う。などに気をつけました。

3 滝川の生き物調べ  
地域を流れる滝川の生き物調べをしました。2回の調査で、滝川には、メダカ、どじょう、カニ、カジカ、ウグイ、エビなどが住んでいること

が分かりました。活動の様子は、ホームページでも紹介しています。

<http://www2.namahage.ne.jp/oganaka>



滝川の生き物調べ

## きらり川・水 探偵団（横手市・横手南小）

横手南小学校4年生144人が、総合学習の時間に学校の前を流れている横手川の環境を調べる2つの活動をしました。

ひとつは、川・水について自分の興味・関心のあるテーマを決めて調べたものです。「横手川マップをつくらう」「横手川クリーンアップ作戦」「おいしい水のヒミツ」「横手川の昔・今・未来」「水生昆虫を調べよう」の5つのコースから選びました。横手川には遊歩道があって多くの人々が訪れるし、魚釣りだてでできる大好きな川です。でも、クリーンアップではたくさんの空き缶やゴミを拾いました。水生昆虫調べでは、カワゲラやヘビトンボなど、きれいな水にすむものがほとんどでしたが、少し汚れた水にすむものもいた

ことや、川底がヌルヌルすることなどを発見しました。「昔はプールがなかったから毎日横手川で遊んでいたよ」と教えてくれたおじいさんの頃と比べて汚れが進んでいることが分かり、とても残念でした。これらの活動で分かったことを11月に開かれた「横手川環境フォーラム」という会で発表・報告することができました。

ふたつ目は「ホタルが舞う清水沢ってすてきな」の活動です。ホタルのことや、学校の横から横手川に流れ込む清流・清水沢にホタルがすむようになるまでの地区の方々の取り組みを調べました。生活排水が流れ込まないように、どの家庭でも簡易下水処理をつけたり、ホタルの幼虫がすめる護岸工事の工夫があったことを知りました。

川の汚れを出すのも、反対にきれいにするのも「私たち」なのだから、一人一人が水を汚さない工夫をしようと話しました。

<http://www3.ocn.ne.jp/yokonan/>



水生昆虫調べ

## 杉の子たんけんたい（ニツ井町・田代小）

1 クラブの紹介  
ニツ井町立田代小学校の全校児童8名で活動しているクラブです。少ない人数ですが、地域の方々の協力を得ながら、様々な活動に取り組んでいます。

今年度は、地域のクリーンアップ、アルミ缶集め、野菜の栽培、わらび採り、魚釣りなどに取り組まれました。アルミ缶集めでは、地域の方々へ積極的に呼びかけた結果、例年よりも多く集まりました。3学期には、歩行器を購入して社会福祉協議会へ贈る予定です。

2 子どもたちのコメント  
クリーンアップでは、約1kmを歩き

ながらゴミを拾いました。去年よりもゴミが少なかったため、これからもゴミを捨てないように心がけて、自然を守っていきたいです。

アルミ缶集めは、毎月第2・4水曜日に学校でアルミ缶をつぶしています。今年は予定よりも早くお金が貯まったので、お年寄りの方に歩行器をプレゼントしたいです。

3 サポーターから  
8名という少ない人数で、本当によくがんばっていると嬉しいです。これからも、ふる

さとの自然を愛し、地域に貢献できる人間になって下さい。



アルミ缶集め

## SPIRIT (中仙町)

活動2年目の佐々木家の小学生2名のこどもエコクラブです。今年度は、新メンバーを増やそうとクラブ名を「スピリット」と改名して、新たな気持ちで取り組んでいます。

毎日の暮らしの中でのリサイクル  
お店探検や親子リサイクル探検隊に参加して、回収された牛乳パック・ペットボトル・ガラスびんが、どんなふうに使われているか教えてもらったよ。  
ペットボトルでロケットも作ったよ。すごく遠くまで飛ぶんだ。  
いつも何気なく見ている自然に注目！

桜の開花調査に参加。桜の木に鳥や虫も遊びに来ていたよ。  
八乙女山の散策。植物には、おもしろい名前がついているのがあるんだ。クジャクシダ、キツネノカミソリとか……。森の中を歩くのって楽しいんだよ。  
「水」のこと知りたいな (^ ^)  
清水めぐりをして、水のことを勉強したよ。不思議な水の力、地下水のこと……。冷たい水が気持ち良くて、おいしかったんだよ。  
これからも、「エコクラブ = 楽しい！」をがんばるぞ!!



リサイクル探検隊

## 仁鮎小エコクラブ (ニッ井町・二鮎小)

### クラブの紹介

仁鮎小エコクラブは、4年生10名、5年生13名、6年生8名、計31名で構成しています。地域のクリーンアップ、アルミ缶リサイクルなどのボランティアを中心に活動しています。

農園では、サツマイモ栽培に取り組み、みんなで収穫の喜びを分かち合いました。また地域を流れる米代川の水生生物調査を通して、環境について学習しました。

### 子供たちのコメント

全校のみんなや地域の人たちに呼び

かけて空き缶を集めました。そして、今年も車いすを贈れるほど、たくさん集まりました。私たちの活動が実ってとてもうれしかったです。  
サポーターから  
自分たちの住んでいる地域の環境に興味関心を持ち、この自然豊かな環境を守り育てるために、自分でやれることに進んで取り組めるように支援したいと思います。



環境集会「リサイクル」について学習しました

## 【こどもエコクラブの作り方】

### 仲間を集めます

数人から30人くらいまでの小・中学生の仲間を集めます。

### サポーターを決めます

クラブ活動を支えてくれる大人のサポーターを決めます。

### 登録します

市役所や役場にあるこどもエコクラブ事務局（環境担当課）に届ければ、クラブとして登録されます。

### 問い合わせ先

- こどもエコクラブ全国事務局（財）日本環境協会（TEL 03-3508-2651）  
（http://www.env.go.jp/kids.ecoclub/）
- 秋田県生活環境文化政策課環境政策課環境あきたアクションチーム（TEL 018-860-1571）  
（http://www.pref.akita.jp/bika/）
- 市町村の環境担当課（教育委員会が担当しているところもあります）

## 循環型社会を目指して！

### 秋田共栄物産株式会社

秋田共栄物産株式会社は、パイプハウスを初めとする農業資材を取り扱っており、農業・環境・リサイクルの3つを柱とする循環型社会を目指して、さまざまな分野に取り組んでいる。

昨年は県内3カ所にそれぞれ1基ずつ、風力発電機を設置した。場所は秋田港そば、男鹿市船川港、そして象潟の大須郷で、目にした方もいらっしゃるだろう。

少し前までは風力発電といえば近未来的なイメージだったが、日本でも導入が進んだ今では、すっかり環境配慮のシンボルになっている。風力発電はシステム上、CO<sub>2</sub>をほとんど排出しないため、地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>排出量の大幅削減が可能である。設置に当たっては立地・風況等調査からメンテナンスまで一貫して行っているのが、この会社の強みといえる。

秋田共栄物産株式会社では、風力のほかに小水力発電システム、あるいは生ゴミ処理機、家畜ふん尿の堆肥化設備などにも力を入れている。今ある資源を有効に活用し、農業を通じたリサイクルネット社会構築を目指している。

### 連絡先

〒011-0951 秋田市土崎港相染町字浜ナシ山17-10

TEL: 018-846-1511 FAX: 018-846-2112

http://www.a-kyoei.com/



象潟 大須郷



地上65mから望む日本海（風車の上）



家畜ふん尿堆肥化簡易施設

## 省エネの専門家！

### (有) エスコ

最近、地球温暖化防止がメディアに載らない日がないくらい叫ばれているが、省エネ対策の診断をし、事業経費負担の軽減を提案する企業が秋田市にある。

診断員は、秋田県に一人しかいないという(財)省エネルギーセンター所属のエネルギー使用合理化専門員であり、数多くの診断経験を持っている。

(有)エスコでは電気料金請求内訳書、保安管理経歴、図面等々を参照し、実際の現場確認を行いながら診断・省エネ提案をしている。

対象企業の大小にもよるが、年間百万単位の削減効果金額の実績があるという。素人考えだけでは、もう頭打ちのコスト縮減に目からウロコの方策が見つかるかもしれない。

〒010-1635 秋田市新屋前野町1-21

(有)エスコ

TEL: 018-888-9828

FAX: 018-888-9935

